

第46回医療功労賞受賞

宇都 辰郎 氏

長年、地域の医療に貢献してきた人たちをたたえる『第46回府医療功労賞』（読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、損保ジャパン日本興亜協賛）を本会元理事の宇都辰郎氏が受賞されました。平成30年2月6日に読売新聞大阪本社（大阪市北区）にて表彰式が行われた。

主たる受賞理由

42年間に亘り近畿大学医学部附属病院中央放射線部に奉職し、X線診断部門において二次・三次の救急医療、心臓カテーテル・血管造影の検査・治療に医療スタッフの一人として尊い命の救命に携わった。また、X線診断領域における被ばく防護の重要性に着目し、医療被ばく低減化と周知に努めた。11年間、本会の地区幹事・理事としても活躍し、府民公開講座や放射線展など府民への知識普及活動や、国際協力機構JICAにも貢献した。